

目標管理は...

ポートフォリオ活用 & プロジェクト学習  
で成功する！

鈴木 敏恵

シンクタンク未来教育ビジョン 代表

# 目標管理とは

Management By Objectives through self control



Management = 【経営】 運営・戦略・知恵・実行



Managementとは、“活かす”ことなり!

# 目標管理の成功とは

## 現状の問題

- ◆ 目標がうまく設定できない
- ◆ 評価のエビデンス（根拠）が見えない
- ◆ スタッフが意欲的にならない
- ◆ 組織の活性化につながらない

# 目標管理の成功とは

## ポートフォリオ活用+プロジェクト学習

- ◆ スタッフが生き活きする
- ◆ 組織が元気になる！
- ◆ フェアな評価でさらに成長
- ◆ モチベーションアップ成長

**未来教育**

**プロジェクト学習とは何か**

■プロジェクト学習とは  
ビジョンとゴールを明確にして  
高い成果をあげる学習手法

何のために何をやり遂げたいの  
か



プロセスで成長する

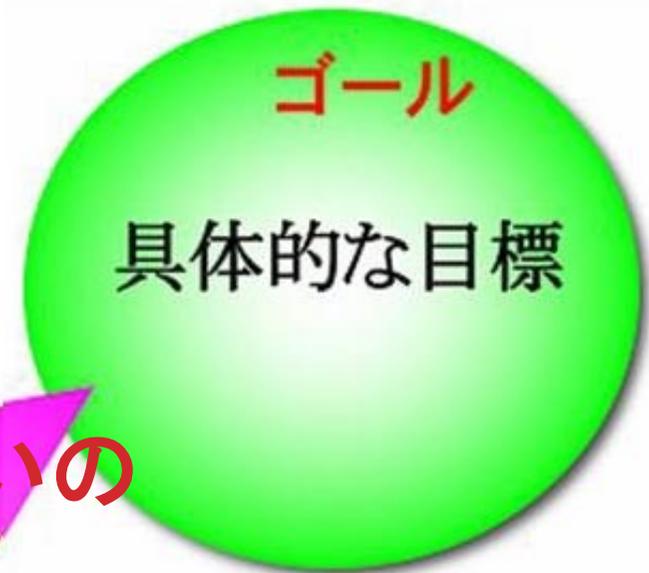
必要な能力(身につく力)



目標設定力

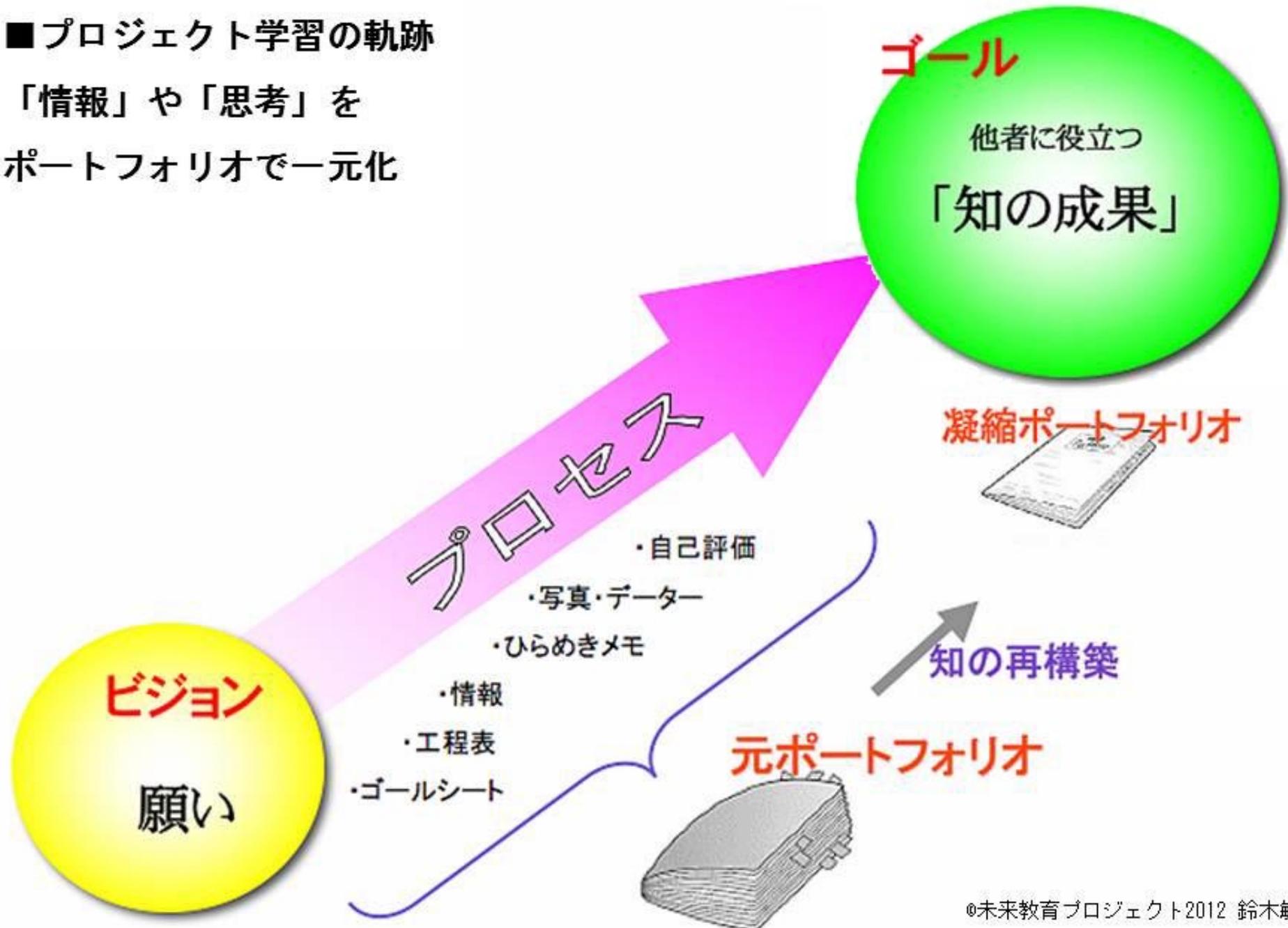
課題発見力

課題解決力



## ■プロジェクト学習の軌跡

「情報」や「思考」を  
ポートフォリオで一元化



# 目標管理の「目標」例(看護部の場合)

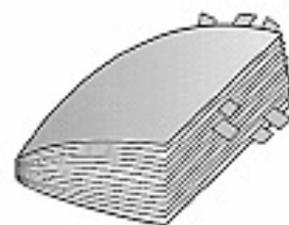
- 患者さんと豊かなコミュニケーションができるようになる
- スタッフ全員（特に新人スタッフ）の褥瘡ケアの質をあげる
- 心臓疾患に関する基礎的知識と技術を身につける
- 心電図を正確に読めるようになる
- 呼吸理学療法をスタッフに広める
- 1年目のスタッフが必要な手術介助が出来るようになる
- 基本的な心臓血管手術の介助がより手際よくできるようになる。
- 脳神経外科手術（大かいとう手術）の介助が段取りよくできるようになる。

# 目標管理の「知の成果物」例(看護部の場合)

- 患者さんと「豊かなコミュニケーションができるためのポイント集」
- 褥瘡ケアの質をあげる「教育プログラム」
- 心臓疾患に関する「基礎的知識と技術が身につく知識集」
- 新人看護師への「心電図 教育プログラム」
- 「呼吸理学療法/実践マニュアル作成」スタッフに広めるために
- 新人ナースの1年間で学んだ「手術介助の実践ファイル」
- はじめて手術介助する人のための「心臓血管手術介助マニュアル」
- 脳神経外科手術（大かいとう手術）の準備「写真入り手術手順集」

# ポートフォリオとは何か

## ポートフォリオの意味



- 意味：紙ばさみ・作品集・活動や実績ファイル
- ポートフォリオとはバラバラの「情報を一元化」

## ポートフォリオの価値（成長評価）

- 「情報を一元化」すると価値が生まれる！
- 俯瞰 = プロセス、成果、成長、知の体系化
- 可視化 = 思考特性、能力、実力（コンピテンシー）

# ポートフォリオ評価とは

- ◆ “これまで評価”は、「結果」を見る

そして…判定 ○× 数値化

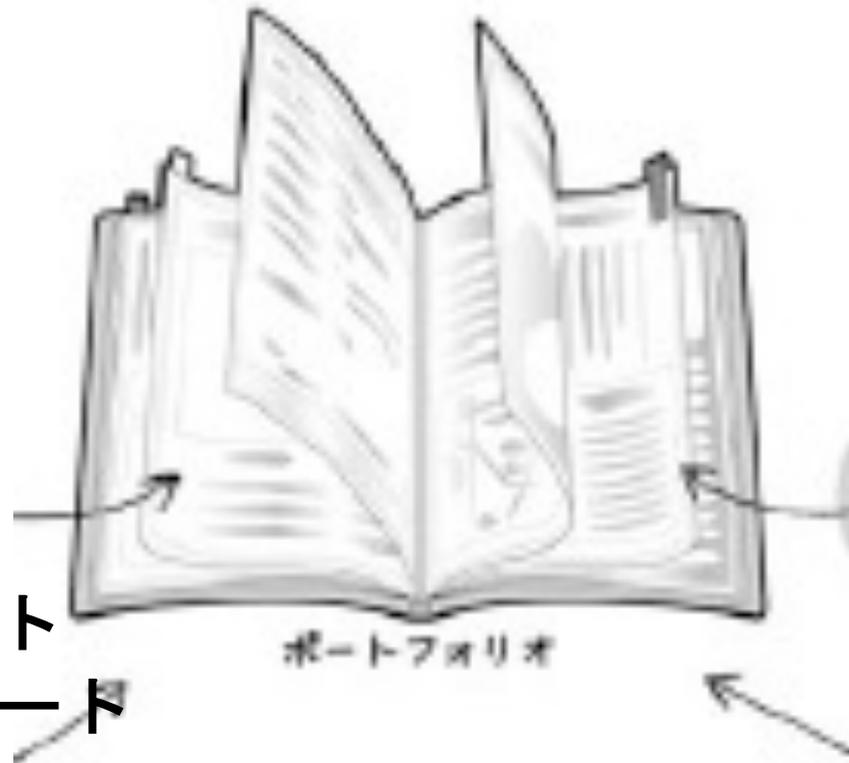
- ◆ “ポートフォリオ評価”は、「プロセス」を見る

そして…潜在力、可能性を見いだす！

どっちが組織をよくする？！

評価とは「**価値**」を見出すこと

# ポートフォリオの中身



- ・ ゴールシート
- ・ 行動計画シート
- ・ アクションシート
- ・ 体験シート
- ・ 文献シート
- ・ 配布プリントなど

- ・ 実習シート
- ・ 自己評価
- ・ 他者評価
- ・ 各種データ
- ・ 考察メモ
- ・ 関連する資料  
(新聞、ネット)

# ポートフォリオの再構築

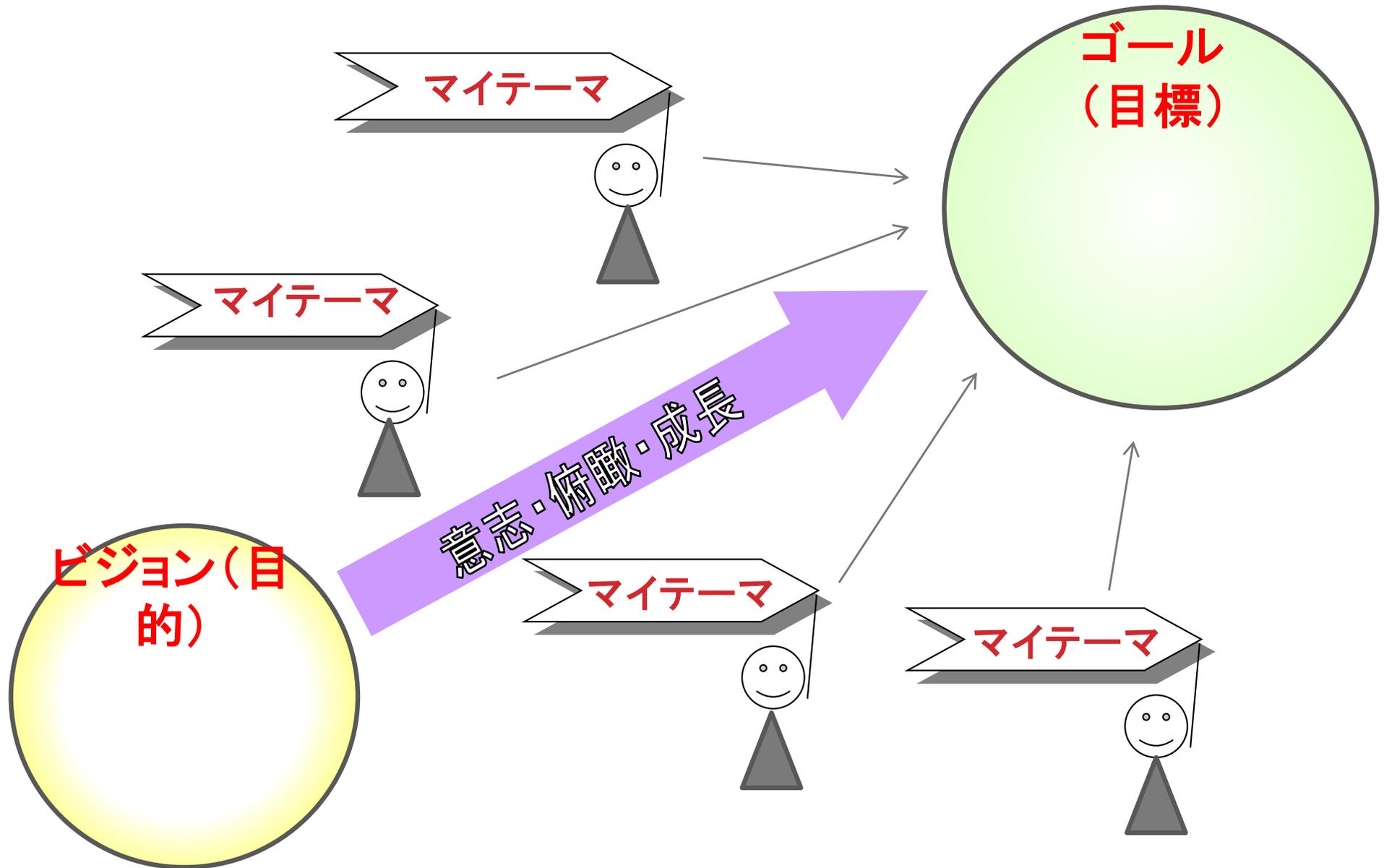


元ポートフォリオ

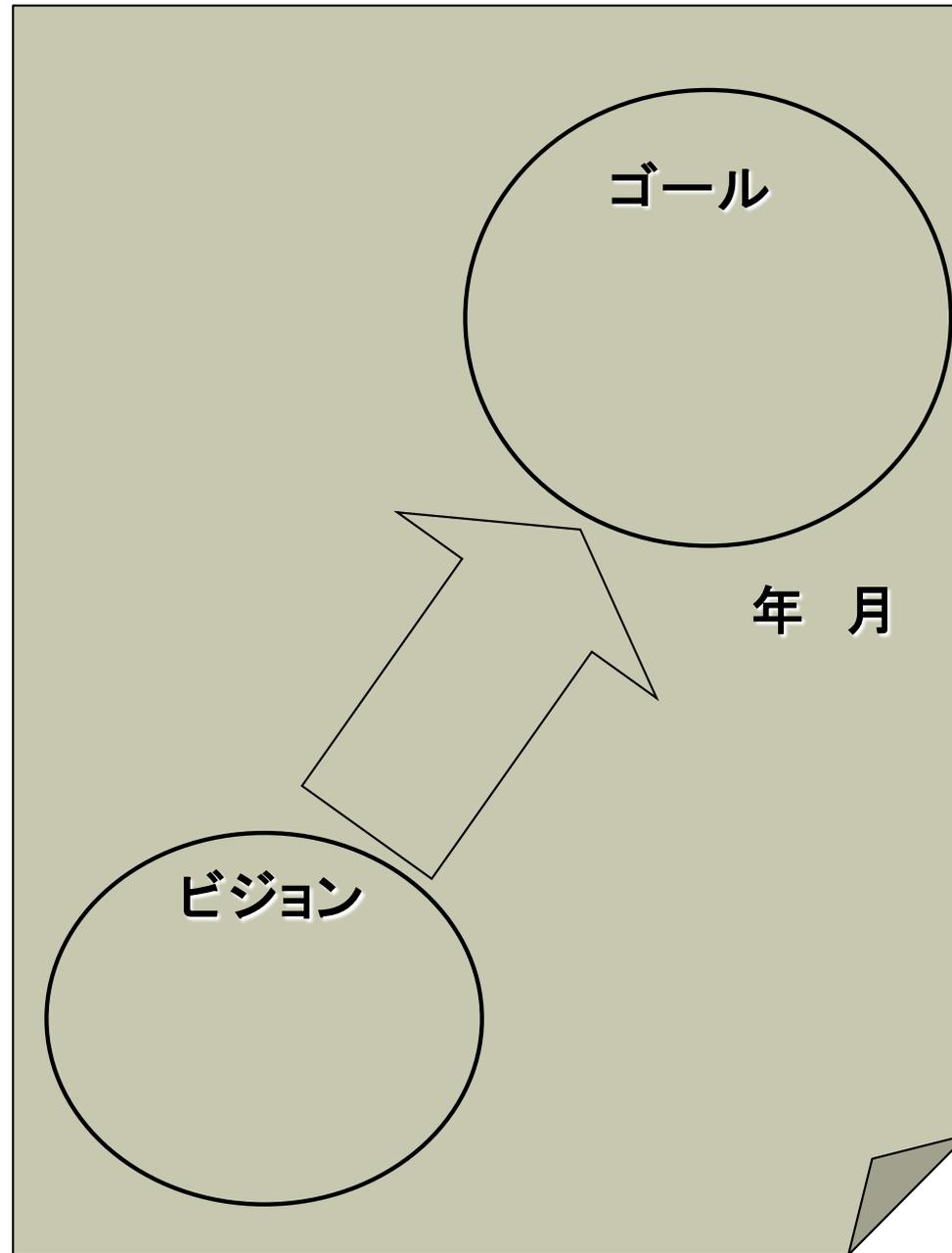


凝縮ポートフォリ

# プロジェクト学習(個人)のイメージ図



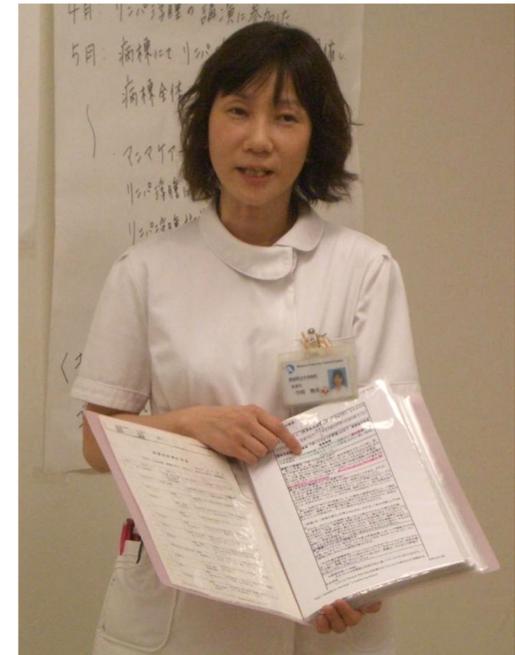
# ゴールシート



# ポートフォリオの作り方

1. ゴールシートを最初に入れる
2. 行動計画を次に入れる
3. 資料・データ・写真・メモなどを時系列にどんどん入れていく

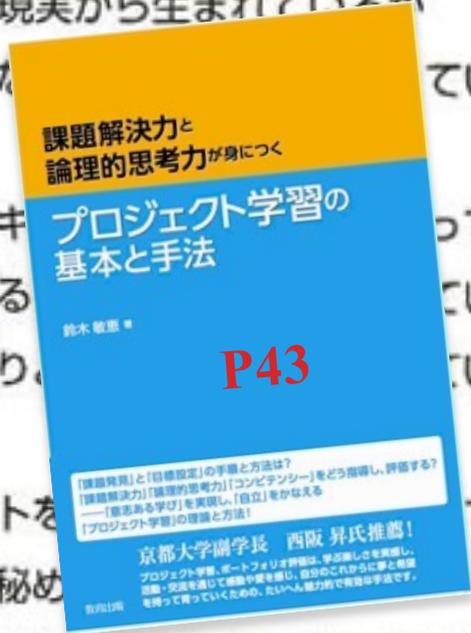
ルール＊日付を書く  
＊時系列で入れる



# 目標の立て方を伝える

## 「目標」チェックリスト

- その目標は、課題や願いからスタートしているか
- その目標は、理想的なところを目指しているか
- その目標は、目の前の現実から生まれているか
- その目標は、抽象的でなく具体的な内容になっているか
- その目標は、知識やスキルを身につけているか
- その目標は、目に見える形で達成されているか
- その目標は、何かがより良くなる方向にあるか
- その目標は、自己ベストを達成しているか
- その目標は、困難性を秘めているか
- その目標は、成果を生み出すものになっているか
- その目標は、達成する喜びを伴うものになっているか
- それがかんたら誰が幸せになるか



## 学生のコメント

＝ 目標の立てる、ラーマの決め方のポイント  
「好き」よりも「課題」でテーマ決めると、  
プロジェクトが進むこと。わかると言うこと”  
わかるとなると、プロジェクト頑張ります。

# ポートフォリオの活用3

## ---目標面接・コミュニケーション



# ポートフォリオの活用4

## --- 課題発見・根拠・目標動機



# ポートフォリオの活用5

## ---明確な目標・共感・信頼

目標イメージの共有



# ポートフォリオの活用6

## ---自己評価・プロセス・支援体制



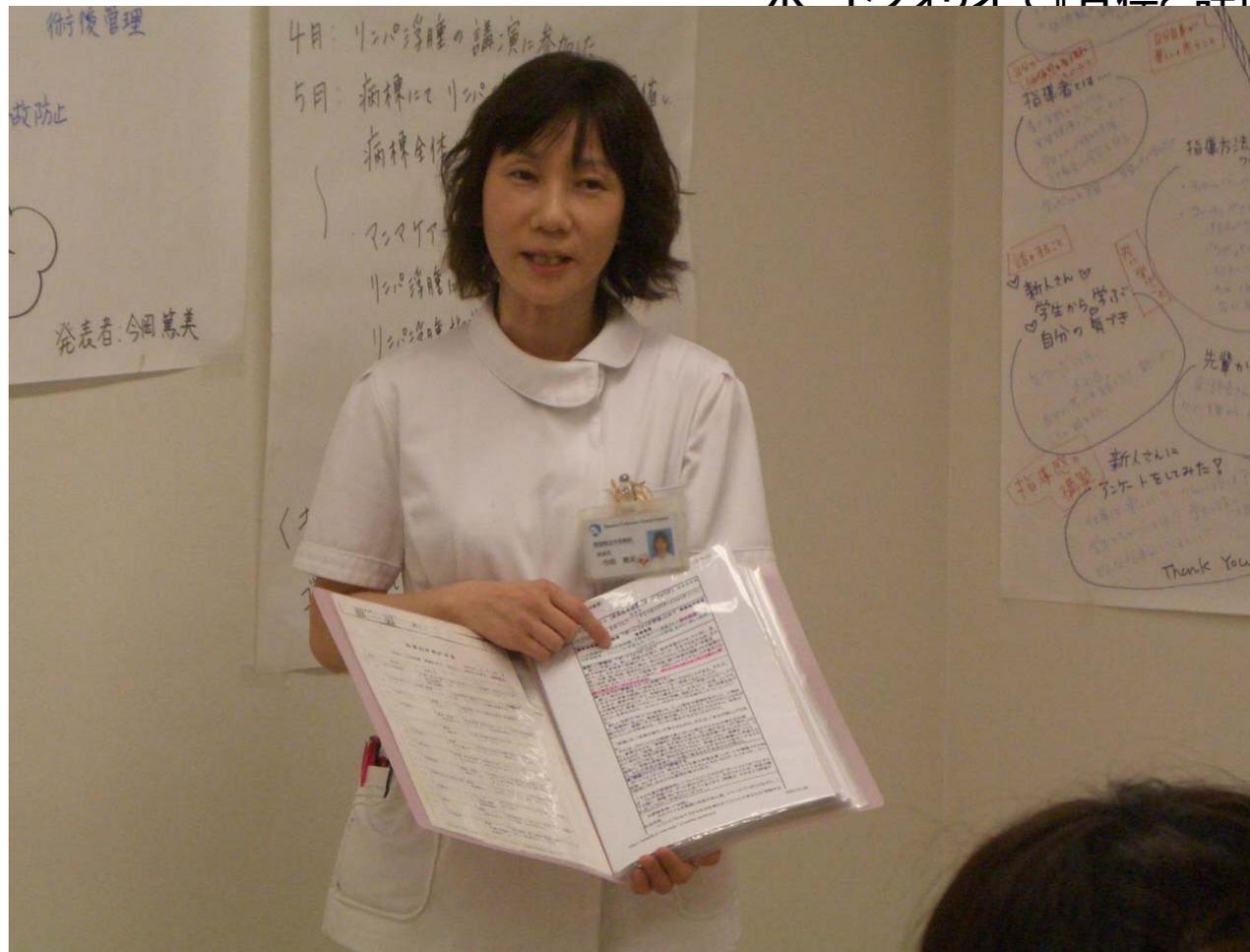
# ポートフォリオの活用7

## ---プレゼンテーション(知の共有・組織向上)

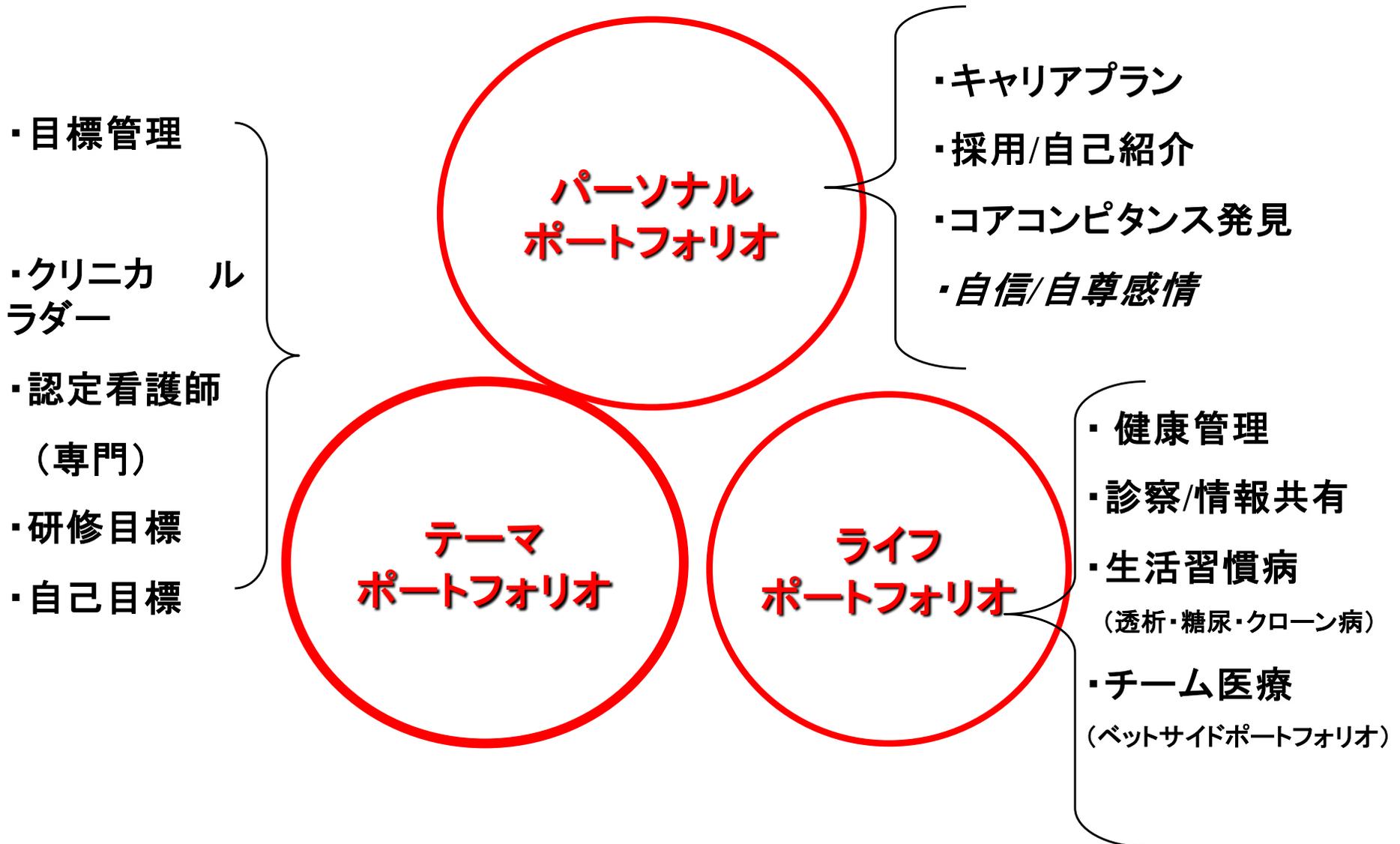


## 知的研修手法

ポートフォリオで『目標と評価』が変わる!



# ポートフォリオの種類と活用



# ポートフォリオの活用1

## ---採用面接・理解・資質発見



# ポートフォリオの活用2

## ---モチベーション(離職防止・キャリアプラン)

